

富士駿河の眺望と紅葉、登れば長寿不老山

実施日 2022年11月27日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 宮崎 敏男
 参加者 宇野輝代、石附智江、峯川弘子、宮崎敏男 計4名
 費用 新宿～駿河山1026円(🚌)駿河小山～明神峠560円
 タイム 駿河小山(8:50🚌)明神峠(9:15)明神峠(9:20・50m)湯船山(1h20m)サンショウバラの丘(5m)世附峠(50m)不老山(50m)生土山分岐(1h30m)駿河小山(16:00)

駿河小山から明神峠行きの週末限定バスも今日と次週で今年終わり。

初冬の寒さに関わらずバスは満員、立乗りの人も多い。明神バス停には大型バスをチャーターした会山行の集団も追いかけてきた。



明神バス停前の登山口を4名で、大集団とは距離を置きたいので足早に出発！尾根道に出ると冬晴れの陽光が我らをやさしく包む。

金時山の猪鼻山とも言われる特徴ある山並み、越前岳の片流れのコニーデ型稜線が秋空にくっきりと美しい。山上の憩いは頂ばかりにあらざるを感じるひと時だ。

あの集団がなかなか来ない？あとで聞いて解かったがあのグループは明神峠を反対の三国山に向かい三国峠・鉄砲木ノ頭(1290m)から山中湖へと向かったようだ(今度やってみるのもイイかも。(チャーターバスが待っていればいいが、帰りが大変だな・独言)

明神山、湯船山へと給水休憩をしながら順調に歩を進める。

今日のメンバーは、流石こぶし女子会三巨頭、今年の夏山もたっぷりこなし、たいして汗もかかずケロッとしている。

湯船山から白クラの頭あたりか、ブナの巨木、大木がしっかりと根を張り枝をのびし見事だ！その姿に誘われ思わず記念撮影、皆さんの存在感も体し

たものです。

やがて登山路は灌木のもじゃもじゃ枝が頭上に伸びるところに至り「さんしょうバラかしら」などの声も聞かれるがまだ違うようだ。

一旦峰坂峠に降り登り返した丘のよな高地がサンショウバラの丘と言われるところだ、案内表示板もあった。次回は5月末から6月と言われる花時に来なければと皆の気持ちは同じだ。サンショウバラの枯れ木が丘一面に茂り、そこを縫うように登山路が東方にどっしりと待ち構える不老山に向かっている。

5分ほど降りた世附峠で昼時前、ここで昼食休憩。方向表示板の上の金太郎オブジェが力んでいる。



不老山への今日最後の登りは辛いような楽しいような50分。山頂は樹林に囲まれ景観は無い。記念撮影をして、ちょっと

不愛想だが話してみると気の良さそうな単独行初老男子(われらも立派な初老か)とおしゃべりしたあと先へ向かう。

生土山分岐を過ぎたところ、陽当たりの良さそうな南面斜面に今日一の紅葉！樹林が朱色に、山が朱色に、我ら4人が独り占め(スイマセンついケチな根性で)

ここから只菅(これひたすらと読むの知ってましたなるほど只菅か)下山。途中1か所コース間違いしMさんの言う通り引き返し、急降下階段道を経て里に下山。舗装道路を30分ほど歩き無事武蔵小山駅到着。

皆さんお疲れさま。1日延期したおかげで好天気の日行でした。御殿場線を上り下りに帰路を分け解散しました。

(記&写真・宮崎 敏男)

